

公益財団法人 北九州国際交流協会

I 法人の概要（令和4年4月1日現在）

1 所在地

北九州市八幡西区黒崎三丁目15番3号 コムシティ3階

2 設立年月日

平成2年7月25日

3 代表者

理事長 福原 公子（令和4年6月21日就任）

4 基本財産

300,000千円

5 北九州市の出捐金

300,000千円（出捐の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7人	0人	1人	6人
常 勤	1人	0人	1人	0人
非常勤	6人	0人	0人	6人
職 員	13人	2人	0人	11人

7 市からのミッション

- ① 外国人市民が地域住民として日本人市民と対等に活躍できる社会を実現するため、外国人市民の社会生活適応と自立を支援する。
- ② 行政と市民団体、企業、大学などとの協働をコーディネーターとして促進することにより、外国人市民と日本人市民が共生できる活力ある社会をめざした地域づくりを行う。
- ③ 世界に開かれたまちづくりを進めるため、グローバル人材の発掘と育成を行う。国際的な視野と行動力を持つ若者を育てるとともに留学生等外国人高度人材への情報提供を密に行い、地域定着希望者への支援を行う。

II 令和3年度事業実績

本協会は、長期ビジョン「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」の下、令和3(2021)年度を初年度とする5か年の中期計画に基づき、

- 1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実
- 2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献
- 3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

の3つの分野における事業を実施した。

令和3(2021)年度は前年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中で、オンラインによる日本語教室の開催、外国人受入企業の支援に向けた取り組みや協会ホームページの全面リニューアルに着手したほか、外国人材活躍支援資金等（寄附金）を活用し、留学生の地

元就職支援などを行った。

また前年度、対面での開催ができなかった「留学生日本語弁論大会」や「日本語おしゃべり発表会」、「留学生と日本人の交流会」は、基本的な感染対策を図った上で、入場者数を制限し、開催した。

一方で、福岡県の2度にわたる緊急事態宣言（5/12～6/20、8/20～9/30）期間中、外国人相談窓口は電話やメールによる対応を原則とし、医療通訳や行政通訳の派遣を一時休止した。併せて、協会内の交流スペースや図書コーナーは閉鎖し、在宅勤務や時差出勤による出勤者数の調整を行った。

1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実

(1) 外国人市民への相談対応

ア 多文化共生ワンストップインフォメーションセンターでの相談

○八幡西区コムシティ及び小倉北区役所で、外国語相談員が日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語による相談対応を行い、それ以外の言語はタブレット端末を活用した多言語通訳システム等の活用により最大22言語の相談に対応した。

○多面的かつ継続的な支援を必要とする相談に対しては、社会福祉士の資格と外国人支援に関する知識・経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」が関係機関と連携し、長期的なフォローを行った。

○日本語コーディネーターが「生活者」、「子ども」、「就労者」を対象とした日本語教育に関する相談に、外国語相談員と連携して対応した。

対応日時：月曜日～金曜日 9：30～16：00

相談者数：1,011人 相談件数：1,120件

○相談通訳コーディネーターが通訳者の育成・派遣を行い、日本語の苦手な外国人市民に寄り添った支援を行った。（緊急事態宣言期間中は派遣停止）

※行政通訳派遣（市の委託事業）

対応件数：182件（内派遣件数 51件）

言語別件数：英語 65件、中国語 55件、ベトナム語 48件、タガログ語 11件、
インドネシア語 1件、韓国語 1件、ネパール語 1件

内容別件数：区役所（行政手続）関係 101件、子育て支援（子ども関係）39件、子育て支援（母親関係）17件、保健所業務 9件、その他 16件

※医療通訳派遣（協会の法人賛助会員は無料）

派遣件数：9件

言語別件数：英語 1件、中国語 5件、ベトナム語 3件

診療科別件数：消化器内科 3件、内科 5件、産婦人科 4件、循環器科 1件、眼科 2件
（複数科受診を含む）

イ 専門家相談

専門的な分野の相談には、必要に応じて通訳が同席する無料の専門相談会を実施した。

○行政書士による「入国・在留・ビザ手続きの相談会」 1回/月 相談件数：44件

○弁護士による「法律相談」 1回/月 相談件数：13件

○臨床心理士による「心理カウンセリング」 3回/年 相談件数：3件

ウ 外国人支援機関ネットワークの活用

福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市等で構成する「外国人支援関係機関連絡会議」において、外国人市民の抱える課題等の情報共有を図り、多文化共生ワンストップインフォメーションセンターの業務にフィードバックした。

開催日：11月12日（オンライン） 参加者 29人

2月25日（西日本総合展示場） 参加者 23人

出席機関：福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、福岡出入国在留管理局、北九州市（区保健福祉課、国際政策課等）

(2) 多言語による情報提供の改善

ア ホームページ等による広報

日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応した協会のホームページのリニューアルに取り組み、フェイスブックやインスタグラムの活用と併せて効果的な情報発信を行った。

※ホームページアクセス件数（リニューアル前）

日本語 25,907件、英語 2,266件、中国語 1,206件、韓国語 707件

ベトナム語 1,965件、やさしい日本語 1,793件 合計 33,844件

イ 災害時多言語支援センターの運営（市の委託事業）

市との協定に基づき大規模災害発生時に開設する「災害時多言語支援センター」運営マニュアルの作成に向けて、先進地（佐賀県国際交流協会・熊本市国際交流振興事業団）調査を行い、北九州市国際政策課と具体的な内容の検討を行った。

(3) 日本語教育の推進と ICT 活用

ア 日本語教室の運営

地域で暮らす外国人、児童生徒を対象とした協会主催の日本語教室は ICT を活用したオンライン授業も積極的に行った。

併せて、中上級レベル（N2、N3）の学習者を対象とした日本語教室を開催した。

(ア) 外国人生活者支援

○「ママとパパのための日本語教室」（オンライン）

開催期間：5月13日～3月4日（毎週木・金曜日 10:30-12:00）

開催回数：60回 参加延べ人数：438人

参加者の国籍：シンガポール、ドミニカ共和国、ハンガリー、パレスチナ、バングラデシュ、フィリピン、インドネシア、中国、韓国、台湾、スペイン、タイ、インド、ネパール、ベトナム、カメルーン、香港、イラン、モンゴル、イタリア、スペイン

○「はじめてのにほんご」（オンライン）

開催期間：9月6日～2月28日（毎週月・木曜日 10:30-12:00）

開催回数：30回 参加延べ人数：53人

参加者の国籍：スペイン、パキスタン、中国、フィリピン、ネパール、タイ、韓国

(イ) 外国人子ども支援（児童生徒を対象にした日本語教室）…「にほんごひろば」（オンライン）

開催期間：5月29日～3月26日（毎週土曜日 10:30-11:30）

開催回数：34回 学習者の国籍：中国、モンゴル、カメルーン、インドネシア、香港
登録学習者数：12人（令和4年3月31日時点） 活動ボランティア数：13人

(ウ) 中上級のための日本語教室（オンライン）

開催期間：3月2日～12月4日（毎週火・木・土曜日）

開催回数：128回 参加延べ人数：749人

参加者の国籍：ベトナム、中国、インドネシア、タイ

※人材バンクへの登録：5人

イ 地域日本語教室との連携

(ア) 地域日本語教室への支援

市内で日本語教室を運営している13の教室・団体の課題や問題点の把握に努め、必要な支援を行い、連携して日本語教育を推進した。

○地域の日本語教室12教室に対して運営資金の一部を助成（65万円）

○教室の活動状況アンケート（毎月）、学習者・ボランティアに関する調査（8月）

○ボランティア向け研修会（オンライン）の開催

テーマ：初級レベルからできる会話力アップのための活動

開催日：2月23日 参加者：15人

講師：宮永 愛子氏（山口大学留学生センター 准教授）

○地域日本語教室との意見交換会

開催場所：北九州国際交流協会交流スペース（対面とオンラインのハイブリッド形式）

開催日：2月11日 参加者：11教室の代表者・メンバー計14人

外部専門家：張 娜氏（北九州YMCA学院 校務主任）

(イ) 第12回日本語おしゃべり発表会の開催

地域日本語教室と連携し、外国人学習者のモチベーションの向上、教室間の情報共有・相互理解の促進を目的として発表会を開催した。

開催日：2月13日 開催場所：北九州市立子どもの館 子どもホール

発表者：20人（ベトナム5人、インドネシア6人、中国1人、台湾2人、タイ1人、ナイジェリア1人、メキシコ2人、フィリピン2人）

来場者：17人（入場制限）

ウ 外国人受入企業の支援

技能実習生の受入企業に日本語講師を派遣したほか、外国人受入企業のニーズの把握に努めるとともに、日本語学習支援に関する研究を行った。

○技能実習生受入企業への日本語講師派遣（当協会の人材バンク登録）

講座：日本語能力試験対策講座（オンライン）

開催期間：9月22日～12月1日 毎週水曜日夜の時間帯

開催回数：10回 参加者：ベトナム人技能実習生10人

○「日本語教育プログラム」（外国人就労者受入向け）の作成

送付先：北九州市内の6つの監理団体

○ベトナム人技能実習生へのヒアリング

実施日：1月30日

実施場所：ベトナム食材店 DUC BEO MART KUROSAKI

対象者：ベトナム人技能実習生（来日2年以上）9人

○外国人就労者受入企業の担当者（日本語学習支援者）向け研修

テーマ：「知っておきたい！外国人就労者とのコミュニケーション」研修

開催日：2月9日

講師：株式会社インカレックス 代表講師 AYA（佐藤綾子）氏

参加者：企業・監理団体 11社・15人、日本語教師 11人

○外部講師（NPO 法人日本語コミュニティ代表 杉原賢治氏）によるアドバイジング

テーマ：ベトナム人技能実習生の送り出し機関・受け入れ企業での日本語学習支援

開催日：2月15日

参加者：協会職員 5人

2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献

（1）外国人材の発掘・情報収集

外国人の視点から地域の魅力を発信できる人材の発掘・情報を収集し、人材登録に向けた準備を行った。

（2）留学生等に対する地元就職支援の拡充

ア 地元企業への就職等促進

（ア）市内進学者奨励金（留学生等支援資金の活用）

市内の日本語学校を卒業し、市内の他の教育機関（専門学校、大学）に進学した留学生を対象に、申請のあった市内に住民登録を有する留学生全員（165人）に奨励金2万円を交付した。

（イ）市内企業就職者奨励金（外国人材活躍支援資金の活用）

北九州市内の大学や日本語学校及び専門学校を卒業し、市内に本社または事業所を有する企業に就職し、市内に住民登録を有する留学生（56人）に5万円を支給した。

（ウ）留学生への情報提供

市内の大学等に進学した留学生に対して、大学等のオリエンテーションで生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した。

イ 関原北九州大連友好基金の重点化

大連市出身若しくは大連市内の大学、専門学校を卒業し、市内の大学等に在籍している留学生に交付する奨学金の対象者を拡充し、北九州市立大学大学院及び早稲田大学大学院、西日本工業大学に通う留学生（4人）に、月額2万円を支給した。

ウ 第29回留学生日本語弁論大会の開催

留学生の日本語学習の意欲増進と市民が留学生を理解する一助とするため、北九州小倉ライオンズクラブ、（公社）八幡法人会、北九州中国友愛の会の協賛を得て、弁論大会を開催した。

開催日：12月12日 開催場所：北九州市立子どもの館 子どもホール

発表者：13人（中国6人、ベトナム3人、ネパール2人、スリランカ1人、マレーシア1人）

来場者：20人（入場制限）

3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

(1) 人材バンク登録の推進

行政・医療通訳のほか日本語教育や外国語相談の担い手として、外国人市民を含めて人材バンクの登録を進め、人材の活用を図った。

○翻訳スタッフ …… 協会や市からの依頼により翻訳を行う (11人)

○日本語指導講師 …… 日本語学習の指導を行う (6人)

○外国語相談サポーター …… 協会窓口で相談対応や翻訳を行う (1人)

(2) 自主防災組織等への参画促進 (市の委託事業)

ア 外国人市民のための防災研修会

開催日：12月10日

開催場所：北九州市消防局市民防災センター

講師：八幡西消防署予防課職員

参加者数：12人 (日本語教室学習者とその家族)

内容：火災時や急病時の対応の講義、消火器の使い方・消火体験・煙体験などの実習

イ 災害時通訳サポーターを対象とした研修 (オンライン)

開催日：1月22日

講師：協会日本語コーディネーター

参加者：災害時通訳サポーター、福岡県職員等 18人

内容：「災害時のやさしい日本語」についての講義、グループ演習

※新型コロナウイルス感染症の影響から中止された事業

「災害時外国人支援情報コーディネーター」養成研修への職員派遣

(3) 民間団体との連携・協働の推進

ア 国際交流団体との連携

(ア) 北九州国際交流団体ネットワーク (キーネット：加盟 57 団体) の事務局支援

総会：6月11日 (書面開催)

役員会：3回開催

研修会：1月29日 (北九州市立子どもの館 子どもホール) 56人参加

パネル展：11月8日～22日 (ひとみらいプレイス) 参加団体 17 団体

(イ) 民間団体の活動支援

○多文化共生の地域づくりに取り組む団体に対して事業経費の一部を助成した。

助成団体：学研ボランティアの会 助成金額 10 万円

○事業の共催、後援及び広報支援等を行った。 共催：2 件 後援：7 件

イ 国際理解教育の推進

(ア) 国際理解教育講師の派遣・紹介

福岡県国際交流センター、福岡よかトピア国際財団との協働事業として、外国人市民等を講師として、小・中・高等学校や市民センター等に派遣する事業に協力した。

【派遣した市内の学校及び講師数】 14 校 37 人

(イ) 協会職員の講師派遣

小中学校や市民センター、他の自治体等に講師を派遣し、自国の生活や文化等の紹介、本協会の取り組みについて講義を行った。

○国際理解推進員（派遣回数3回）

- 4月14日 北九州市職員研修所 新規採用職員研修
- 6月17日 クロスFM（ファンファン北九州） ラジオ出演
- 12月2日 黒崎中学校 「日本で働く外国人の話聞き国際理解を深めよう」

○外国人支援担当主任（多文化ソーシャルワーカー）（派遣回数9回）

- 9月14日 公益財団法人かながわ国際交流財団 「日本語学習支援実践者（リーダー的人材）研修」（オンライン）ANADO ファシリテーター
- 9月15日 西南女学院大学 「グローバル社会と地域母子保健」
- 10月27日 小倉北区 DV 関係機関連絡会議 外国人支援ケースに関する報告
- 10月28日 公益財団法人山口県国際交流協会
「外国人住民等相談窓口対応研修会」（オンライン）
- 11月5日 全国市町村国際文化研修所
「多文化ソーシャルワーカーの配置とその役割」
- 11月17日 西南女学院大学 「北九州市における多文化共生の取り組み」
- 12月8日 特定非営利活動法人 CINGA(国際活動市民中心)
「全国外国人相談センター意見交換会」登壇（オンライン）
- 12月10日 公益財団法人佐賀県国際交流協会 「日本語ボランティア研修会」
- 3月13日 日本ソーシャルワーカー連盟
「多文化ソーシャルワークシンポジウム」（オンライン）

※令和3年度「文化庁日本語教育大会」（WEB大会）でのインタビュー

「総括コーディネーターってこんな人

～都道府県・政令指定都市が取り組む体制づくりにおける役割を探る～」

※事例報告書フォーカス記事の寄稿

令和2年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」

○相談通訳コーディネーター（派遣回数1回）

- 9月10日 県立若松高等学校 定時制教室における国際理解についての講演

○日本語コーディネーター（派遣回数3回）

- 12月22日 北九州市役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」
- 1月29日 福岡県人権研究所会員 「やさしい日本語研修」（オンライン）
- 2月22日 北九州市内の保育所（園）、認定こども園、地域型保育事業所の職員
「社会福祉研修所やさしい日本語研修」（オンライン）

ウ 多文化共生の地域づくり

（ア）英語で語る自分の国（開催回数 5回、参加延べ人数 68人）

- 5月15日 マレーシア 11人（オンライン）
- 7月3日 モロッコ 17人
- 8月21日 フランス 8人（オンライン）
- 10月2日 ガーナ 19人（オンライン）
- 2月5日 ベラルーシ 13人

（イ）多文化共生啓発（外国人市民と相互理解を深める交流会）

○「レッツ トーク！☆」（オンライン）

開催日：9月11日

参加者数：8人

○留学生と日本人の交流会

開催日：3月19日

開催場所：交流スペース

参加者数：25人（留学生とその家族16人、ホストファミリーその他ボランティア9人）

(ウ) グローバル人材育成事業（市の委託事業）

○「われらの北九州 好きっちゃ！」（オンライン）

北九州市在住の外国人から見た市の魅力を語るトークイベントを実施した。

開催日：6月19日

参加者：17人

講師：姜 志守（韓国）、ナタリア・シャンドリーカブア氏（ベラルーシ）、
スリラーム・ラジャラーム（シンガポール）

○フューチャーリーダーズ

中学生・高校生・大学生を対象に、広い視野と自由な発想を身につけ未来を切り拓くヒントとなる講演会を実施した。また、講演前にはミクスタ見学ツアーを行った。

開催日：11月6日

場所：ミクニワールドスタジアム北九州 記者会見室ほか

講師：ギラヴァンツ北九州 クラブコーディネーター 池元 友樹氏

テーマ：「夢を追って行きついた場所」

受講者：23人

○アジアの“今”を知りたい～タイ～

アジア諸国の第1回目として、タイ王国と北九州市との繋がりを観光以外の側面からも知ることを目的として講演会を実施した。

開催日：11月20日

場所：コムシティ7階 北九州市立子どもの館 子どもホール

講師：在福岡タイ王国総領事館 ポーンパン プーピンジャイ領事

（通訳：永野 瑞枝氏）

タイ王国政府観光庁福岡事務所 ルーンティップ ワンパティカン キムラ所長

大森 優華氏

受講者：68人（一般58人、タイ人留学生およびインターン生等10人）

○国際交流まつり～世界のママ&パパマルシェ～

ママパパ日本語教室参加者をはじめとした外国人市民が、「ひとみらい交流ウィーク」期間中に賑わいづくりにつながるバザーを開催した。

開催日：11月20日

出品国：5カ国 7ブース

来場者：約280人

○英語で遊ぼう！英語で学ぼう！（オンライン）

ゲームや会話をしながら英語に親しみ、外国人とのコミュニケーションや海外の文化に触れる機会を提供した。

開催日：12月18日

講師：北九州市立小学校及び中学校のALT、国際理解推進員9人

参加者：小学生19人（英語で遊ぼう！）、中学生10人（英語で学ぼう！）

(エ) 多文化共生の担い手育成

○協会事業を支える人材の育成

- 【第1回】 開催日：11月30日 受講者：14人 会場：交流スペース
内容：行政通訳基礎研修（ベトナム語、タガログ語、タイ語）
講師：北九州国際交流協会 多文化ソーシャルワーカー 矢野 花織
- 【第2回】 開催日：2月13日（オンライン） 中国語スキルアップ 受講者：7人
講師：日本公共通訳支援協会 副代表理事 三木 紅虹氏
- 【第3回】 開催日：2月26日（オンライン） 英語スキルアップ 受講者：10人
講師：AMDA 国際医療情報センター 相談員 宮城 京子氏
- 【第4回】 開催日：2月26日（オンライン） ベトナム語スキルアップ 受講者：6人
講師：日本公共通訳支援協会 通訳ロールプレイ講師 飯田 まどか氏

○日本語教室を支えるボランティアの参画促進

「にほんごひろば」オンライン教室を運営するボランティアのスキルアップ研修（オンライン）

開催日：7月10日

対象者：活動経験のあるボランティア（9人）

開催日：12月11日、12月18日、1月15日（各1時間、全3回連続講座）

対象者：新規にボランティアとして活動できる学生（14人）

○インターンシップ実習生の受入

職業意識の向上と多文化共生の理解を深めるため協会独自で大学生を受入れ、実習を行った。（北九州市の依頼による受入は新型コロナウイルス感染症により中止）

実習生：北九州市立大学外国語学部国際関係学科2～3年生 3人

実習期間：2月12日（土）～14日（月） 3日間

実習内容：協会事業の学習、日本語教室のアシスタント、外国人相談員との意見交換

○協会ボランティア登録状況（令和4年3月31日現在 言語内訳は重複あり）

①行政通訳ボランティア（登録：73人）

中国語27人、英語15人、ベトナム語8人、韓国語7人、インドネシア語5人、タガログ語4人、タイ語4人、ネパール語3人、モンゴル語2人、ドイツ語1人、ロシア語1人

②医療通訳スタッフ（登録：41人） 中国語22人、英語14人、韓国語6人

③多言語ママパパサポーター（登録：19人） 中国語12人、英語4人、韓国語3人

④災害時通訳サポーター（登録：59人）

中国語24人、英語11人、ベトナム語8人、韓国語5人、タガログ語4人、インドネシア語3人、タイ語3人、モンゴル語2人、ネパール語1人、ロシア語1人

⑤専門家相談通訳ボランティア（登録：4人）

⑥ホストファミリーボランティア（登録：42家庭）

⑦にほんごひろばボランティア（登録：13人）

《 協会の広報活動 》

- 北九州市が発行する市政だよりに、協会事業やイベント情報の掲載（24 件）
- メールマガジンによる情報提供（月 2 回）
 - 協会からのお知らせやイベント情報を登録者へ配信（メールマガジン登録者数：565 人）
- 日本語教室やワンストップインフォメーション PR パンフレットの作成・配布（多言語対応）
- 「ボランティアウィーク 2021（社会福祉協議会）」での協会事業の紹介（スライド映像）
 - 期間：10 月 16 日～23 日 会場：ウェルとばた
- 「多文化共生わいわい祭り（北九州 YMCA との共催）」での協会事業の紹介
 - 期間：2 月 1 日～28 日（Web 上での動画配信）

Ⅲ 令和3年度決算

1 貸借対照表(総括表)

令和4年3月31日現在(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,376,077	5,719,710	4,656,367
未収金	2,011,900	4,096,455	▲2,084,555
前払費用	17,500	44,500	▲27,000
流動資産合計	12,405,477	9,860,665	2,544,812
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	300,000,000	300,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
留学生等支援資金積立資産	38,421,808	41,761,808	▲3,340,000
外国人材活躍支援資金積立資産	11,300,000	10,000,000	1,300,000
特定資産合計	49,721,808	51,761,808	▲2,040,000
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
什器備品	1,611,222	2,182,845	▲571,623
投資有価証券	13,374,200	18,927,800	▲5,553,600
保証金	0	95,700	▲95,700
長期性預金	0	548,000	▲548,000
その他固定資産合計	14,985,423	21,754,346	▲6,768,923
固定資産合計	364,707,231	373,516,154	▲8,808,923
資産合計	377,112,708	383,376,819	▲6,264,111
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,586,832	3,614,609	1,972,223
預り金	564,460	490,566	73,894
流動負債合計	6,151,292	4,105,175	2,046,117
負債合計	6,151,292	4,105,175	2,046,117
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取寄付金	149,721,808	151,761,808	▲2,040,000
指定正味財産合計	149,721,808	151,761,808	▲2,040,000
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(49,721,808)	(51,761,808)	(▲2,040,000)
2. 一般正味財産	221,239,608	227,509,836	▲6,270,228
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	370,961,416	379,271,644	▲8,310,228
負債及び正味財産合計	377,112,708	383,376,819	▲6,264,111

2 正味財産増減計算書（総括表）

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,308,244]	[2,308,244]	[0]
基本財産受取利息	2,308,244	2,308,244	0
特定資産運用益	[526]	[5,424]	[▲4,898]
特定資産受取利息	526	5,424	▲4,898
受取会費	[609,000]	[438,000]	[171,000]
受取賛助会費	609,000	438,000	171,000
事業収益	[2,362,525]	[3,707,055]	[▲1,344,530]
外国人市民の防災支援受託事業収益	409,200	407,220	1,980
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	997,700	1,003,035	▲5,335
人材育成受託事業収益	350,625	382,800	▲32,175
外国人との共生社会環境整備事業収益	0	1,914,000	▲1,914,000
ウクライナひまわりプロジェクト管理業務受託事業収益	605,000	0	605,000
受取補助金等	[70,368,000]	[71,297,860]	[▲929,860]
受取北九州市補助金	61,118,000	61,118,000	0
受取国庫助成金	9,000,000	10,000,000	▲1,000,000
受取助成金	250,000	179,860	70,140
受取寄附金	[7,052,000]	[3,281,219]	[3,770,781]
受取寄附金	52,000	247,459	▲195,459
受取寄附金振替額	7,000,000	3,033,760	3,966,240
雑収益	[1,055,969]	[1,491,824]	[▲435,855]
受取利息	42	513	▲471
その他雑収益	1,055,927	1,491,311	▲435,384
経常収益計	83,756,264	82,529,626	1,226,638
(2) 経常費用			
事業費	[82,516,471]	[80,495,140]	[2,021,331]
役員報酬	6,157,957	6,215,817	▲57,860
給料手当	35,448,198	26,120,923	9,327,275
臨時雇賃金	4,256,240	10,682,055	▲6,425,815
福利厚生費	8,288,939	7,490,437	798,502
材料費	25,000	41,633	▲16,633
奨学金	960,000	1,047,620	▲87,620
留学生等支援助成金	3,400,000	4,510,000	▲1,110,000
外国人材活躍支援助成金	3,448,159	0	3,448,159
旅費交通費	707,670	1,108,076	▲400,406
通信運搬費	2,274,285	2,365,106	▲90,821
減価償却費	559,385	412,384	147,001
消耗什器備品費	247,852	2,176,354	▲1,928,502
消耗品費	1,032,838	1,984,262	▲951,424
車両両費	174,733	77,304	97,429
印刷製本費	353,110	2,506,668	▲2,153,558
光熱水料費	2,004,536	1,973,665	30,871
リース料	845,835	888,735	▲42,900
使用料賃借料	3,867,189	3,471,237	395,952
災害保険料	111,612	153,334	▲41,722
報償費	2,979,370	3,857,180	▲877,810
租税公課	4,000	4,600	▲600
支払負担金	250,000	250,000	0
委託費	4,270,828	1,746,165	2,524,663

図書費	163,333	508,635	▲345,302
食糧費	41,866	34,666	7,200
雑費	643,536	868,284	▲224,748
管理費	[2,069,177]	[2,131,114]	[▲61,937]
役員報酬	344,103	342,148	1,955
給料手当	208,512	174,178	34,334
福利厚生費	128,067	129,459	▲1,392
通信運搬費	21,481	13,496	7,985
減価償却費	12,238	3,583	8,655
消耗品費	54,359	104,720	▲50,361
印刷製本費	3,960	24,145	▲20,185
光熱水費	102,808	101,099	1,709
リース料	44,517	44,517	0
使用料賃借料	514,473	513,386	1,087
支払負担金	100,000	100,000	0
委託費	462,000	462,000	0
交際費	11,359	14,659	▲3,300
雑費	61,300	103,724	▲42,424
経常費用計	84,585,648	82,626,254	1,959,394
評価損益等調整前当期経常増減額	▲829,384	▲96,628	▲732,755
投資有価証券評価損益等	▲5,480,844	▲414,844	▲5,066,000
評価損益等計	▲5,480,844	▲414,844	▲5,066,000
当期経常増減額	▲6,310,228	▲511,472	▲5,798,756
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄附金	[40,000]	[40,000]	[0]
受取寄附金振替額	40,000	40,000	0
経常外収益計	40,000	40,000	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[0]	[2]	[▲2]
什器備品除却損	0	2	▲2
経常外費用計	0	2	▲2
当期経常外増減額	40,000	39,998	2
当期一般正味財産増減額	▲6,270,228	▲471,474	▲5,798,754
一般正味財産期首残高	227,509,836	227,981,310	▲471,474
一般正味財産期末残高	221,239,608	227,509,836	▲6,270,228
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	[5,000,000]	[5,000,000]	[0]
受取民間寄附金	5,000,000	5,000,000	0
一般正味財産への振替額	[▲7,040,000]	[▲3,073,760]	[▲3,966,240]
一般正味財産への振替額	▲7,040,000	▲3,073,760	▲3,966,240
当期指定正味財産増減額	▲2,040,000	1,926,240	▲3,966,240
指定正味財産期首残高	151,761,808	149,835,568	1,926,240
指定正味財産期末残高	149,721,808	151,761,808	▲2,040,000
III 正味財産期末残高	370,961,416	379,271,644	▲8,310,228

IV 令和4年度事業計画

本協会は、長期ビジョン「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」の下、令和3年3月に策定した中期計画に基づき、

- 1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実
- 2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献
- 3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

の3つの分野における事業を実施することとしている。

中期計画の2年目となる令和4年度は、コロナ禍で外国人の入国制限が緩和される中、「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」の相談業務では、タブレットによる遠隔対応、「日本語教育」ではオンラインを主体とした教室運営など ICT を活用したサービスを引き続き行う。

また、外国人受入企業への日本語教育の推進に努めるとともに、リニューアルした協会のホームページから外国人市民に向けて積極的に、効果的な情報提供を進めていく。

なお、本事業計画に基づく予算は、昨年度に引続き、文化庁及び北九州市の補助金に加え、外国人材活躍支援資金（寄附金）など特定資産を活用するほか、賛助会等の自主財源の確保にも努める。

1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実

(1) 外国人市民の相談対応

ア 多文化共生ワンストップインフォメーションセンター

相談窓口に加え、電話や映像通訳等の ICT を活用し、コロナ禍においても安心して相談できる体制を維持する。

○八幡西区コムシティ及び小倉北区役所で、外国語相談員が日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語による相談対応を行い、それ以外の言語はタブレット端末を活用した多言語通訳システム等の活用により最大 22 言語の相談に対応する。

○多面的かつ継続的な支援を必要とする相談に対しては、社会福祉士の資格と外国人支援に関する知識・経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」を中心に、関係機関と連携し、相談者に寄り添った対応を行う。

○行政窓口には要請に応じてコミュニティ通訳を派遣し、日本語の苦手な外国人市民を支援する。

○「生活者」、「子ども」、「就労者」を対象とした日本語教育に関する相談には、日本語コーディネーターが外国語相談員と連携して対応する。

イ 専門家相談

協会の相談員だけでは対応できない専門的な分野については、必要に応じて通訳が同席する無料の専門相談会を実施する。

○行政書士による「入国、在留、ビザ手続きの相談会」 月1回

○弁護士による「法律相談」 月1回

○臨床心理士による「心理カウンセリング」 随時

ウ 外国人支援機関ネットワークの活用

福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会等で構成する「外国人支援関係機

「関連協議会」において、外国人市民の抱える課題等の情報共有を図り、多文化共生ワンストップインフォメーションセンターの業務にフィードバックすることにより、外国人支援事業の充実を目指す。

(2) 多言語による情報提供

ア ホームページ等による積極的な広報

リニューアルされた協会のホームページ（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、「やさしいにほんご」対応）を積極的に活用し、フェイスブックやInstagramと併せて効果的な情報発信を行う。

イ 災害時多言語支援センターの運営

市との協定に基づき、大規模災害発生時に災害時多言語支援センターを開設し、外国人への情報提供、支援を必要とする外国人市民への相談対応等を行う。

(3) 日本語教育の推進と ICT 活用

ア 日本語教室の運営

地域で暮らす外国人、とりわけ初めて日本語を学習したい外国人、児童生徒を対象とした協会主催の日本語教室は ICT を活用したオンライン授業も積極的に行うとともに、北九州都市圏域の近隣 17 市町の機関と連携し、遠隔地からの参画を促進する。

併せて、中上級レベル（N2、N3）の学習者を対象とした日本語教室を開催し、人材バンクへの登録、地元企業への就職を推進する。

イ 地域日本語教室との連携

(ア) 地域日本語教室への支援

地域で日本語教室を運営している 13 の教室・団体の活動経費の一部を助成するほか、ICT を活用してオンライン授業に取り組む教室・団体に対し必要な支援をする。

(イ) 空白地域の解消に向けた調査

日本語教室の空白地域である門司区における現況・ニーズを踏まえ、地域日本語教室の立ち上げを検討する。

(ウ) 日本語スピーチコンテストの開催

30 回目を迎える「留学生日本語弁論大会」と「日本語おしゃべり発表会」を統合し、地域日本語教室とも連携した「日本語スピーチコンテスト」を開催する。

外国人留学生や日本語教室の学習者、技能実習生等に、日本語でスピーチする機会を提供することで、日本語学習意欲の増進と地域日本語教室間の情報共有、相互理解を促進する。

ウ 外国人受入企業の支援

技能実習生を雇用している、もしくは雇用を検討している受入企業に対して、「社員向け講座」や「受入外国人向け日本語教育」に必要な講師派遣をニーズに合わせて実施する。

2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献

(1) 外国人人材の発掘・情報収集

コミュニティ活動、起業、日本文化の継承、インバウンド、国際交流、多文化共生の分野で主体的に活動し、担い手となっている外国人市民を発掘し、外国人の視点からの魅力を発信する。

(2) 留学生支援

ア 地元企業への就職等促進

市内の日本語学校を卒業し、市内の他の教育機関（専門学校、大学）に進学する留学生、及び市内の専門学校、大学を卒業し、市内企業に就職する留学生に奨励金を交付する。

イ 関原北九州大連友好基金

大連市内の大学、専門学校を卒業し、市内の大学等に在籍している留学生に奨学金を交付する。

3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

(1) 人材バンク登録の推進

行政・医療通訳など既存の市民ボランティアの登録・活用に加え、日本語教育や国際理解教育の講師など多文化共生の担い手となる人材バンクへの登録を推進する。

- 通訳・翻訳スタッフ・・・協会や市からの依頼により通訳・翻訳を行う
- ピアサポーター・・・外国人市民に対して日本での生活におけるアドバイスを行う
- 文化紹介講師・・・学校や地域で、外国文化や生活を紹介する講義を行う
- 日本語指導者・・・外国人に対し日本語学習の指導を行う
- イベントサポーター・・・イベントや講座等協会事業の支援を行う
- オンライン事業サポーター・・・オンラインによる日本語教室のサポートを行う
- 外国語相談サポーター・・・協会の相談窓口で相談対応や文書翻訳を行う

(2) 自主防災組織等への参画促進

国が実施している「災害時外国人支援情報コーディネーター」養成研修を活用して、外国人被災者のニーズとのマッチングを行うコーディネーターを育成するほか、防災講習会を通して「外国人防災リーダー」を育成する。

(3) 民間団体との連携・協働の推進

ア 国際交流団体との連携

(ア) 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

キーネット加盟団体相互の情報交換等の活動を事務局として支援する。

(イ) 民間団体の活動支援

国際化や多文化共生に取り組む民間団体の活動経費の一部を助成するほか、事業の共催、後援及び広報支援等を行う。

イ 国際理解教育の推進

(ア) 国際理解教育講師の派遣・紹介

福岡県国際交流センター、福岡よかトピア国際財団との協働事業として、外国人市民等を講師として、小・中・高等学校や市民センター等に派遣し、世界の文化や習慣を体験学習する。

(イ) 講師の派遣

協会の国際理解推進員や外国語相談員、人材バンクの登録講師等が講師となり、小中学校や市民センター等で自国の生活や文化等の紹介、参加者との交流を通じて異文化理解を促進する。

ウ 多文化共生の地域づくり

学習会や研修会、国際交流まつりなどのイベントを通して、多文化共生の人材づくり・啓発を行う。

(ア) 留学生との交流会

留学生と「交流ボランティアファミリー」登録された日本人家族が楽しく交流し、相互理解を深める。

(イ) 日本語交流会

日本語学習者と学習支援者が日本語で交流する場を提供し、多文化共生の理解を促進する。

V 令和4年度予算

収支予算書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日 (単位:千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,380]	[2,310]	[70]
基本財産受取利息	2,380	2,310	70
特定資産運用益	[10]	[10]	[0]
特定資産受取利息	10	10	0
受取会費	[600]	[600]	[0]
賛助会員受取会費	600	600	0
事業収益	[2,399]	[2,647]	[▲248]
コミュニティ通訳等派遣受託業務収益	999	997	2
共生社会の実現に向けた環境整備事業収益	600	900	▲300
外国人防災支援受託事業収入益	450	400	50
多文化共生人材づくり受託事業収入	350	350	0
受取補助金等	[71,268]	[70,268]	[1,000]
受取北九州市補助金	61,118	61,118	0
受取国庫助成金	10,000	9,000	1,000
受取自治体国際化協会助成金	150	150	0
受取寄附金	[5,540]	[8,040]	[▲2,500]
受取寄附金	40	40	0
受取寄附金等振替額	5,500	8,000	▲2,500
雑収益	[1,103]	[1,001]	[102]
受取利息	0	1	▲1
その他雑収益	1,103	1,000	103
経常収益計	83,300	84,876	▲1,576
(2) 経常費用			
事業費	[82,236]	[83,763]	[▲1,527]
役員報酬	6,159	6,161	▲2
給料手当	35,661	33,413	2,248
臨時雇賃金	4,834	6,486	▲1,652
福利厚生費	8,352	8,262	90
会議費	261	0	261
旅費交通費	1,526	2,193	▲667
通信運搬費	1,628	1,566	62
減価償却費	506	230	276
消耗品費	831	769	62
材料費	47	67	▲20
車両費	95	91	4
印刷製本費	321	183	138
光熱水料費	1,425	1,482	▲57
リース料	638	855	▲217
使用料賃借料	4,566	4,509	57
災害保険料	175	145	30
報償費	3,839	4,723	▲884

奨食支留函委雜管	學糧負担	金費金	950	950	0
			45	59	▲14
			350	350	0
			7,300	7,600	▲300
			70	100	▲30
			2,115	3,360	▲1,245
			542	209	333
			[964]	[1,545]	[▲581]
			449	449	0
			153	150	3
			24	101	▲77
			8	8	0
			1	4	▲3
			16	6	10
			27	0	27
			6	16	▲10
			75	78	▲3
			34	45	▲11
			0	135	▲135
			13	10	3
			83	468	▲385
			75	75	0
經常費用		計	83,200	85,308	▲2,108
当期經常増減		額	100	▲432	532
2. 經常外増減の部					
(1) 經常外収益					
經常外収益		計	0	0	0
(2) 經常外費用					
經常外費用		計	0	0	0
当期經常外増減		額	0	0	0
当期一般正味財産増減		額	100	▲432	532
一般正味財産期首残高			222,017	222,449	▲432
一般正味財産期末残高			222,117	222,017	100
II 指定正味財産増減の部					
受取寄付金			5,000	5,000	0
受取寄付金等振替		額	▲5,500	▲8,000	2,500
当期指定正味財産増減		額	▲500	▲3,000	2,500
指定正味財産期首残高			135,057	138,057	▲3,000
指定正味財産期末残高			134,557	135,057	▲500
III 正味財産期末残高					
			356,674	357,074	▲400

VI 役員名簿等

1 役員名簿

令和4年7月1日現在

役職名	氏名	備考
理事長	福原 公子	(公財)北九州国際交流協会理事長
専務理事	石井 佳子	(公財)北九州国際交流協会専務理事
理事	井上 龍子	八幡駅前開発(株)代表取締役社長
//	吉成 安恵	独立行政法人国際協力機構九州センター所長
//	廣澤 洋子	北九州国際交流団体ネットワーク顧問
監事	窪田 浩治	北九州市企画調整局国際部長
//	藤野 啓介	(株)福岡銀行常務執行役員北九州本部長

2 市との特命随意契約の状況(令和3年度実績)

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意 契約の場合 その理由
コミュニティ通訳派遣業務	998	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、当該業務を履行可能なものが1者しかいないことが確認されたため。	再委託なし				
外国人市民の防災支援事業	409	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、当該業務を履行可能なものが1者しかいないことが確認されたため。	再委託なし				
グローバル人材育成事業	351	北九州ひとみらいプレイスを構成する各施設との連携事業の一環であり、プレイスに所属し、国際関連団体とのネットワークを持つ組織でないことと実効性のある履行が期待できないため。	再委託なし				
ウクライナひまわりプロジェクト管理運營業務	605	ウクライナでの有事に際し、北九州市の市花でありウクライナを象徴する花でもある「ひまわり」を題材に、市民の心を寄せるメッセージボードを設置し、国の内外に広く情報発信する本事業を履行するためには、以下の要件を満たす必要がある。 ①本事業の実施に当たっては、その性質上日本人のみならず日本語が堪能ではない外国人に対し、その文化的背景などを理解した上での説明が必要となること。	再委託なし				

		<p>②本市のウクライナ支援に関する検討状況等を十分に理解したうえでの対応が求められること。</p> <p>(公財)北九州国際交流協会は、本市の多文化共生施策の一翼を担い、日頃から外国人市民の相談に応じ、海外の文化を紹介する業務を実施している。また、本市ウクライナ支援策の一つである募金箱の設置場所であるとともに、本市のウクライナ避難民相談窓口業務を行っており、本市のウクライナ支援施策において必要不可欠な存在である。よって、本事業が履行可能な団体は(公財)北九州国際交流協会以外になく、メッセージボードの設置場所としても同協会以外に考えられないため。</p>		
合計	2,363		合計	

